

畿央大学後援会だより

発行：畿央大学後援会
2010年8月30日
第4号



ごあいさつ

畿央大学後援会 会長

上山 準大

夏の暑さが少しずつ遠のき、朝夕には近づく秋の気配が感じられる季節となりました。畿央大学後援会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より後援会活動にご理解、ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

この夏、子どもの虐待、高齢者の所在不明といったニュースが私たちを驚かせると同時に、「なぜこんなことに…」という思いを持ちました。

これは、単に「親が悪い」「高齢者の周りの者がだめなんだ」というような理由でかたづけられる問題ではないように思います。人と人との「つながり」がどんどん希薄になり、「どんなことも自分一人でするしかないんだ」という状況に追い込まれ、苦しんでいる人は、決して少なくないでしょう。年間3万人を超える「自死」者の存在も含めて、私たちはもっと命の大切さについて考える必要があると考えます。

私たちの子どもがこの畿央大学で学び、社会に存在するこれらの問題に対して正面から取り組んでくれることを願ってやみません。

最後にこの後援会だよりの編集にご協力いただいた方々に感謝申し上げます、ごあいさつといたします。

会員のみなさまへ

学校法人冬木学園 理事長
畿央大学 学 長

冬木 智子



蝉しぐれの声も秋の訪れを思わせる頃となって参りました。日頃後援会の皆様におかれましては、畿央大学に多大のご期待をお寄せ頂き、また物心両面にわたる厚いご支援を頂き、改めて深く感謝申し上げます。

畿央大学として豊かな夢を抱いて開学に至ったその日から早や8年目の年を迎え、その間、学部・学科の増設を実施し、教育及び大学運営の更なる充実に関心職員あげて真摯に取り組んで参りました。その背後には、保護者の皆様方の熱い思いがあったということに他なりません。

古くより伝わる、心に深く残る言葉があります。我が国における高名な国学者本居宣長が、当時故郷伊勢松阪より遠く離れた京の都に出て勉学に励んでおられました。その折り、故郷より「遠方より母見て申す」との便りを寄せられたとの事があります。宣長はその母の言葉に励まされひたすら学問大成への道に精進されたと記されております。親と子のあつい心をここに改めて感受するのであります。

私は、我が学園の創立者としての信念を持ち、建学の精神の実践に邁進し、皆様のご期待に添える為に努力したく存じます。後援会だよりの発刊に当たり、保護者の皆様方へ変らぬ御支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



次の世代を育てる

健康科学部長・健康科学研究科長 金子 章道

私は日曜日の晩、NHKのテレビ番組「ダーウィンの生態が放送されるが、その中で動物の子育ての映像がよく出てくる。世代交代。仔は親になり、またその仔を育てる。子供が小さいうちは親とくっついている時間が長い、だんだんと離れている時間が長くなり、自活できるようになると子は親から離れて独立した生活をするようになる。

動物の例にもみられるように、親が子供を育てることが「教育（教える育てる）」であり、教育の主役は親と子である。大学は教育機関であるが、その役目は「教育」のお手伝いであり、基本的には脇役である。

畿央大学の建学の精神は「徳をのばす、知をみがく、美をつくる」である。各家庭でもそれぞれ「教育」の理念をお持ちだろうが、本学の建学の精神が各家庭でも「教育」の理念であって欲しいと願っている。

チーム・ワークの成果

教育学部長 白石 裕



後援会の皆様、初めまして。本年4月1日から教育学部長を務めております白石です。どうぞよろしくお願い申し上げます。後援会の皆様には、日頃、本学のために何かとお力添えいただき誠に有難うございます。お蔭をもちまして教育学部は着実な成果をあげ、教育界において高い評価をいただいております。本学の教職員一丸となった取り組み、それに応える学生、そして後援会の皆様のご支援というチーム・ワークの成果であると思っております。

大学における教員養成のあり方については先行き不透明なところが多分にあります。徳をのばし、知をみがき、美をつくるという本学の建学の精神は、教員養成にとって、そしてまた、社会人養成にとって、時代を超えた根本原理です。この本学の精神を大切に、輝かしい実績を維持、発展させること、それが私に課せられた使命だと自覚しつつ、職責をはたしていきたいと考えています。

ごあいさつ	P1	教育学部 現代教育学科	P7
後援会総会・保護者懇談会	P2	担任からのコメント	P8~12
健康科学部 理学療法学科	P3	大学院 学生支援の窓口	P13
看護医療学科	P4	保護者アンケートのご報告	P14~15
健康栄養学科	P5	授業日カレンダー 畿央祭	P16
人間環境デザイン学科	P6		

CONTENTS

平成22年度

後援会総会を 開催しました。

平成22年7月10日（土）午前に畿央大学第三会議室において後援会総会を開催しました。はじめに昨年度の役員を代表して泉委員より、つづいて冬木学長よりご挨拶をいただきました。その後、議事に入り、畿央大学後援会会則の改定が提案・審議されました。また、平成21年度事業報告、決算、監査報告がそれぞれ、審議されました。次いで平成22年度新役員の選挙が行われ、10名の新役員が選出されました。上山新会長のご挨拶のあと、平成22年度事業計画、予算

が審議され、いずれの議案も承認されました。新旧役員のご自己



紹介のなかでは、畿央大学に入学して生き生きと学生生活を送ってられるお子様の様子や、大学に対する期待の声も寄せられる和やかな会合となりました。

大学からは平成21年度大学機関別認証評価の結果および保護者アンケート集計の中間報告が資料に基づき行われました。

本年度の後援会役員の構成は別表のとおりです。会員の皆様のご協力を得ながら活動をすすめていきたいと思

ります。会員の皆様のご協力を得ながら活動をすすめていきたいと思

●新役員

役職	役員氏名	学生の所属
会長	上山 準大	教育学部 現代教育学科
副会長	中根 景子	健康科学部 看護医療学科
副会長	泉 美恵子	健康科学部 健康栄養学科
会計	中辻 晶	教育学部 現代教育学科
会計	小松 美佐	(畿央大学職員)
書記	中原 由美	健康科学部 理学療法学科
書記	中西 弘典	(畿央大学職員)
監事	西前久美子	健康科学部 看護医療学科
監事	山口 良子	教育学部 現代教育学科
委員	中 久美子	健康科学部 健康栄養学科
顧問	冬木 智子	学長
顧問	金子 章道	健康科学部 学部長
顧問	白石 裕	教育学部 学部長

畿央大学後援会とは

畿央大学後援会は、畿央大学の学生の父母または保証人をもって構成される団体です。学生の教育や厚生に必要な施設設備の充実、研究活動やクラブ活動などに必要な援助を行うことによって子供たちの学生生活の充実と畿央大学の発展に貢献することを目的としています。また会員相互の連携をすすめるとともに、大学と父母または保証人をつなぐ役割を担って、保護者懇談会や広報の取り組みをすすめます。

第5回保護者懇談会・懇親会を開催。

平成22年7月10日（土）午後、保護者懇談会を開催しました。保護者懇談会も今年で5回目となりました。梅雨の間の晴れ間のとても暑い日となりましたが、各地から193名の保護者の方がご参加されました。

冒頭の冬木学長の挨拶、上山後援会会長のご挨拶、また理学療法学科の福本准教授による『畿央生の体力測定結果に見える傾向



学長あいさつ



福本准教授の講演



懇親会

とご家庭での支援について』の講演が行なわれました。

その後は学科ごとに分かれて、担任の先生のご紹介や各学科での学習の状況、普段

の学生生活の様子について報告・説明がありました。

ひきつづいて、食堂棟で懇親会を開催しました。教職員と保護者の方が気軽に情報交換でき、先生方の人柄にも触れることのできる機会として、学科ごとのテーブルで和やかな懇談が繰り広げられました。

学科別説明会や懇親会を通して、学生と教員の距離がとても近い大学ということも多く保護者の皆様を感じ取っていただくことができ、有意義なひと時を過ごしていただけたようです。

今回の参加者アンケートでは、大学の教員による講演で聴きたいテーマについて多数リクエストをいただきましたので、来年以降のテーマ選定に役立て、より有意義な保護者懇談会を企画していきます。来年も多くの保護者のみなさまのご参加をお待ちしています。



教育学部現代教育学科説明会

メッセージ

理学療法学科
 学科長
 庄本 康治



残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。今回は理学療法士を取り巻く社会的変化について報告致します。一つは

2010年4月30日、厚生労働省医政局より、痰を吸引することが理学療法士の仕事の一部として正式に認められました。これは職業団体としては大変な進歩だと考えていますが、さらに高度な知識と技術が要求されます。二つ目は、リハビリテーションを受ける事を目的に入院する専門的病棟である回復期リハビリテーション病棟への診療報酬が高くなっていることです。例えば、365日間リハビリテーションを実施すると、さらに経営的メリットが大きくなるように診療報酬が誘導されていて、これによる求人増も期待されています。こうした変化が生まれてきていますが、養成校の乱立などに

よる厳しい状況は変わりありません。

こうした中、本学では、教育面での新しい試みとしては、4回生1名と1~3回生数名が1グループになり、4回生が病院で担当した患者さんについて、専門的内容、授業との関係を含めて解説する授業を行うことにしています。目的は縦の関係の強化、下級生のやる気の刺激、患者さんから見た内容での講義の重要性を理解することです。この取り組みで、一層早い時期から深い実践的、理論的な学びを積み上げ、力量のある理学療法士の養成をすすめていくことにしています。

進めています国家試験対策

4回生後期は、卒業研究、就職活動、国家試験の準備がありますが、卒業研究は11月12日に完全に終了します。就職活動はすでに募集も始まっていますので、見学などに積極的に行って頂くことが重要ですが、なかなか行動が伴わない人がいます。幸い



本学への求人数が多い状況がありますが、全国的に理学療法士養成校と就職対象者数は急増していますので、早めに行動して欲しいと思っています。昨年度を振り返っても、数名の募集に多くの応募があり、競争が激しくなっています。国家試験対策科目を後期に履修して頂きますが、自分との戦いになります。この時期にしっかりと努力すれば模擬試験の点数も上がりますが、気を緩めてしまうとすぐに結果に反映します。そのためにも、国家試験対策科目の単位認定時期を幾つかの段階に分け、気の抜けないような単位認定方



法を設定する予定にしています。国家試験の難度は上がってきていますが、入学試験、定期試験、実習等よりは簡単であり、心身の調子を整え、緊張感を維持して準備すれば必ず合格可能です。

さまざまな人との出会いが、貴重な経験となった1日でした。 『脳外傷友の会第10回全国大会2010 inなら』をお手伝いしました。

6月26日(土) 奈良県文化会館国際ホールで行われた『脳外傷友の会第10回全国大会2010 inなら』のイベントスタッフとして、理学療法学科の学生19人が「奈良脳外傷友の会あすか」の方々のお手伝いをしました。

雨が降る中、全国より約650の方が来場しました。学生スタッフは、駅前前で案内板を持って待機したり、誘導や受付をしたりなどイベントに関するお手伝いをし、開場してからは当事者の付添い、案内やワークショップのお手伝い、アンケート回収などを行いました。



今回参加した学生たちはボランティア活動の経験も多く、同じクラブのメン

バーでもあるのでコミュニケーションもとりやすく、お互いに役割を把握しながら対応や流れをつかんで動くことなどを自発的に行うことができ、スムーズに活動を行っていました。

このボランティア活動を通じて、さまざまな立場の方や、当事者の方とふれあい、普段の大学生活では味わえない貴重な経験ができ、その経験は大きな宝物となったようでした。



メッセージ

看護医療学科
学科長
伊藤 明子



3学年が揃い先輩後輩の絆ができ、全学的な委員にも積極的に参加し、その活動を通してリーダーシップを発揮できるように成長し

てきたと思います。日常の活動において、お互いに支え、支えられる関係を実感することは、看護を学ぶ学生にとって大切な経験だと思います。

近年、看護系大学は増加の一途を辿っていますが、社会のニーズに応えられる能力を身につけた看護職をいかに育てるかについては、どの大学も苦慮しています。幸い本学の学生は、めざす看護職を具体的にイメージして力強いと感じています。

入学当初は、高校と違う学習の仕方にとまどいがちですが、学年が進むにつれ、主体的な学習の機会が多くなり、グループメンバーの意見に耳を傾け、他者の素晴らし

さに感動したり、お互いの違いを認めることの重要性を学んでいるように思います。

後期は、3回生が長期の臨地実習に出かけ、受持患者を通して看護のあり方を実践的に学びます。「自分の学びや喜び、不安等を他者に話すことが人間的な成長に繋がる」といわれます。保護者の皆様には、是非、お子さまの話に耳を傾けていただき、臨地実習でのお子さまのサポートをお願いしたいと思います。

今後ともご指導ご協力の程、宜しくお願いいたします。

国家試験・採用試験対策

4年間の看護師・保健師国試対策のながれは、右の表の通りです。看護医療学科は、来年度に完成年度を迎え、1期生がはじめての国家試験に臨むこととなります。万全を期し、全員自信をもって受験できる準備

を計画的に進めています。看護師国試模試を10回、保健師国試模試を3回、加えて、3回生の3月から受験直前まで、e-Learningで自宅でも学習できるようにしています。



各クラス担任が学習進度の相談にのり、サポートをしますが、学生同士の情報交換や互いに教える風土づくりのために、グループで学習を進めることになっています。看護師国家試験の結果分析では、基礎医学の知識が合否を決定すると言われており、3回生前期には、週2コマの「基礎医学総合演習

国家試験（看護師・保健師）対策マスタープラン

1回生	前期			
	後期		国家試験対策説明会	
2回生	前期	4月	分野別模試（人体構造機能学・感染免疫・基礎看護学）	
	後期	9月	分野別模試（病理学・薬と健康）	
3回生	前期	4月	基礎学力テスト	
		6月	専門基礎・必修問題 eラーニング	
	後期	10月	保健師対策模試	
4回生	前期	4月	分野別模試（人体構造機能学・感染免疫・基礎看護学）	
		6月	第1回全国公開模試	
		8月	第1回国試対策テスト	
	後期	10月	保健師対策模試 第2回全国公開模試	
		11月	第2回国試対策テスト	
		1月		保健師対策模試
				第3回全国公開模試

I・IIを開講し、基礎医学の知識の強化を図りました。後期に始まる臨地実習で活用し、実力をつけて欲しいと願っています。また、教職支援センターの指導のもと、養護教諭の採用試験に向けても頑張っています。

さまざまな角度から さまざまな現場で学んでいます。

1回生は、高野山で1泊2日の宿泊研修をしました。基礎看護学実習を終えたばかりの先輩も参加し、その体験を熱く語ってくれました。1年間の成長には目を見張るものがあり、新入生にとってもよい刺激となりました。

3回生の各看護学援助論では、現場に近い状況設定のもと、学内演習を重ねました。例えば、現場でご活躍の認定看護師

さんによるNICU（新生児集中治療室）における新生児ケアの実際や

救急医療の現状を知るためにヘリポートを設置している病院の見学にも行きました。また、「終末期ケア論」では緩和ケア病棟を見学し、一般病棟との違いを学びました。

「看護倫理」の最終講義では教育担当副部長に、日々ベッドサイドで起きている倫理的問題を取り上げていただき、看護倫理を学ぶ意義についてみんなで考えました。



緩和ケア病棟を見学しました



新入生宿泊研修



ベッドサイドの問題を学んだ「看護倫理」

メッセージ

健康栄養学科
学科長
北田 善三



保護者の皆様には、日頃より本学科の運営にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

本学科にとってのこの半年間の最大の話題といえば、今春実施された管理栄養士国家試験の合格率が過去最高の92.3%となったことです。本学のような管理栄養士養成課程の新卒者の全国平均が78.7%ですから、いかに本学が高いかを分かっていたかと思えます。

現在の管理栄養士養成施設数は全国で10,085あり、この10年間に施設数にして約3倍、学生数にして約35倍に増えています。当然、各施設とも国試対策の強化をはかり、

受験生のレベルも上がっている中で高い合格率を達成できたのは、ひとえに学生の努力の成果です。

現在、4回生の中には夏休み返上で就職活動を継続している者も多くあります。また、3回生は初めての学外実習で緊張の日々を送っていることと思います。彼らにとって今年の猛暑はことさら身にこたえることでしょう。

学年によって状況は異なりますが、保護者の皆様にはこの後援会だよりを一つの材料に、お子さまと学校の様子などを話題にしていいただければ幸いです。

国家試験対策について

管理栄養士国家試験の出題範囲は、大学4年間で習った専門科目ほぼすべてといって過言ではなく、過去問を1、2ヶ月勉強した程度ではとても歯が立ちません。早い時期から国家試験を意識して勉強に取り組んでいくことがとても大切です。

健康栄養学科では、国試に対する意識付けを目的として、2回生学年末に総合対策演習Ⅰ（集中講義）、3回生学年末に総合対策演習Ⅱ（集中講義）を開講しています。また、4回生においては特別演習Ⅰ（前期）および特別

演習Ⅱ（後期）を開講し、国家試験の勉強がよいよ本格化します。これらの授業では、専門科目を担当する学科全教員が持ち回りで講義や演習を行い、これまでに習った専門分野の内容を復習するとともに、そ

の知識を用いて国家試験形式の問題を解く力を身につけていきます。また、4回生の夏休みには、受験対策を専門とする講師を招いて集中講義を行っています。

さらに、これらの授業と並行して繰り返し模擬試験を実施し、自身の弱点や実力を確認するとともに、試験問題の復習を通じて学力の向上を図っています。



「万葉人からの贈り物」

『千の香り～江戸時代の面影をたどって～』を商品化。

「万葉人からの贈り物」と題する「食」に関する檀原の土産物を創出する檀原商工会議所との産学官連携事業で、4回生のチームが考案した『千の香り～江戸時代の面影をたどって～（4種味の葛ボーロ）』が商品化されることが決まりました。このプロジェクトには、健康栄養学科8チーム（約30名）が参加し、今年2月に始動後、5回の勉強会、和洋菓子職人さんらによる試作品チェックや学内コンペを行うなど、精力的な活動を展開してきました。商品は、9月18・19日開催の檀原商工まつり、11月の近鉄百貨店檀原店「うまいもん市」にて発売される予定です。



『千の香り～江戸時代の面影をたどって～』



担当チームの学生たち



メッセージ

人間環境デザイン学科
学科長
三井田 康記



平素より、本学の教育にご理解、ご支援を賜り、ありがとうございます。

就職氷河期といわれ続けている昨今ですが、おかげさまで、4回生の8割ちかくがすでに内定をいただき、そのうちの多くが就職を決定しました。就職試験等で学外に出ていた学生も教室に顔を見せるようになりました。

これから、大学4年間の集大成としての卒業研究がスタートします。来年も、2月19日(土)、20日(日)の2日間、奈良市の猿沢池の南にある「奈良町センター」のギャラリーで卒業作品展を開催する予定です。4回生のご父兄はもちろんのこと、下

級生のご父兄の皆様もぜひ足をお運びください。学生の成長に驚かれるに違いありません。

2回生、3回生も、課題の提出に夜遅くまで、製図室で図面台に向かって頑張っています。課題を重ねるにつれて、成長著しい成果を見せてくれるのに、教員一同驚かされています。

後期はプロジェクトゼミが始まります。通常の授業とは違い、2、3回生でグループを組み、学外に出て調査したりして、それぞれの課題に取り組みます。必ずや、すばらしい成長の証を見せてくれるものと、今から楽しみにしています。

資格試験・採用試験対策

人間環境デザイン学科では多くの資格を取得することができます。学生のめざすキャリアに合わせ、一年中資格に関する情報提供・指導を行っています。

まず、建築・まちづくりコースに関しては、やはり卒業と同時に受験資格を得られる二級建築士が大きな資格の一つです。受験は卒業後ですが、希望者は資格スクールからの提携講座を在籍中に受けることができ、今までの卒業生の中で6名の合格者を

出しています。今年も15名の受講希望者が出ています。

インテリア・デザインコースでは、インテリア設計士、インテリアプランナー、インテリアコーディネーター、など多くの資格を取得することを推奨しています。中でもインテリア設計士(2級)は在学中に取得でき、就職活動を有利に導くものです。授業内でインテリア設計士の設計課題の過去問に受験対策を兼ねて取り組み、昨年は受験生19名全員が合格、今年も16名が受験し14名が合格と高い合格率を保っています。インテリアコーディネーターは、昨年5名が初めて受験しましたが、残念ながら合格者は出ませんでした。5名中2人はインテリア計画と技術に受かっており、今年も再チャレンジする予定です。

造形デザインコースでは、家庭科教諭をめざす学生が多



く在籍しています。本年度4回生で、教員採用1次試験(8月13日現在)で愛知県、静岡県、大阪府で合格者を出しました。昨年度の卒業生で大阪府の非常勤講師をしている卒業生も大阪府教採1次試験に合格いたしました。家庭科教諭第1号が出ることを祈っています。

その他、「色彩」に関する資格検定制度は、主に文部科学省後援のAFT色彩検定合格を目標に講義を行っています。主に3級、2級合格を目標にしていますが学生の関心は高く、「合格しました」と報告に来てくれています。

その他のデザインに関する資格を積極的に受験するように指導し、受験対策の質問等は随時受け付けています。



建築設計製図の講評会、 学生も先生も真剣です。

先日、住環境設計製図及び建築設計製図の講評会が行われました。いずれも2回生・3回生の人間環境デザイン学科建築・まちづくりコースの必修科目であり、建築士をめざす学生が集まっている科目です。

一人ひとり、自分の図面と模型をならべ、5分程度のプレゼンテーションを行った後、先生方から鋭い質問と批評を受けます。先生方も手に模型を取ったり、図面を見に前まで近よったり、真剣です。優秀作品は、大学のホームページや学内の掲示により紹介されます。お楽しみに!!



メッセージ

現代教育学科
学科長
安井 義和



平素は教育学部現代教育学科にご理解・ご支援を賜り、ありがとうございます。7月の保護者懇談会にも多数のご参加をいただき、貴重なご意見を賜りました。

当学科も今春に初めて学生を社会に送ることが出来ました。学生自身の頑張りやサポートしてくださった保護者のお陰で、新設大学とは思えない実績を上げることができましたことに感謝しております。2期生である学生たちも先輩たちに追いつき、追い越せと教員採用試験の1次発表を好成績で経過しています。現代教育学科に籍を置く学生たちが卒業後には自分の選んだ職場で自立して生き生きと活躍してくれるため

の基礎作りに職員一致協力して努めています。この不安定な時代であるからこそ、基礎的な力を重要視したいと思っています。

この8月下旬からは2、3回生の教育実習が大きなイベントで、教員も実習校園に向き、学生を激励し、サポートいたしますが、学生にとっての真の応援団は保護者・ご家族ですのでよろしくお願いします。

保護者の皆様と我々教職員とは連絡を密にし、学生の将来を見守っていきたく考えますので、何かありましたらご連絡下さい。

教員採用試験対策も企業就職対策も

教員採用試験の対策は1回生の一般教養勉強会（アセンブリの時間中心）から始まります。2回生からは「一般教養対策」、3回生からは「教職教養」、「公務員対策」等の講座を開催しています。さらには個別面談・集団討議学習



会、模擬授業・模擬保育、論文指導・集団討議・面接対策講座など、受験する校種や都道府県によって異なる試験に応じた対策を行っています。

4回生時には教職支援センターのスタッフを中心に採用試験対策の仕上げを実施し、エントリーシート及び願書記載の指導も行っています。最近の採用試験では模擬授業が重視されていますので、学生相互に子ども役になり、教員がアドバイザー役の模擬授業を繰り返しています。

教育学部学生の進路先は教員とは限りません。企業への就職を希望する学生には



キャリアセンターに専門スタッフをおいてキャリアガイダンスを行い、就職に必要な知識、マナー、情報などを提供しています。その結果、1期生の企業就職希望者17名は三井住友銀行をはじめ希望の就職先に全員決定しました。

現場に寄り添い現場に足を運んで学んでいます。

下左図は現4回生が教員採用試験の一次を合格し、2次試験に向かった模擬授業を自主的に行っている一コマです。このような風景は頻繁に見かけられます。

下右図は教育学部1回生が必修授業である「ベーシックセミナー」と「現代教育論」との拡大授業として、

大阪教育大学附属池田小学校で学習した際の一コマです。午前中は授業を拝見し、午後は2001年の同校児童殺傷事件について学び、子どもの安全とは何かを学習しました。（詳細は畿央大学のHPをご覧ください。）



担任からのメッセージ

畿央大学の担任制度は、教員が担任として学生との人格的な接触をはかり、学生生活全般にわたる指導を行うことによって、建学の精神を身につけた有為な人材を養成することを目的としています。

健康科学部は学科ごとに2~4クラスを編成し各クラスに1名、教育学部はコースごとに1~4名の担任を置くことにしています。健康科学部4回生、教育学部3・4回生は卒業研究の指導教員がゼミ担任となります。

担任の役割は、「学習指導」「生活指導」「進路・就職指導」「学

生の危機管理」が主なものですが、学生一人ひとりの状況を系統的に把握していくために全学年において年2回の全員面談を実施しています。また、学生の求めに応じ、また必要性が生じた時には随時に面談を行うこととしています。

健康科学部1~3回生担任、教育学部1・2回生担任からメッセージを寄せていただきました。

コメントの内容

- ① 前期面談を終えて、担当している学生の様子、良い面、心配な面
- ② 担任として心掛けていること、保護者をお願いしたいこと



理学療法学科1回生担任

前岡 浩

① 前期面談では、ほぼ全員が自分の目標を持ち、その達成のために今後の学生生活をいかに過ごしていきたいかを話してくれました。勉強やそれ以外にも非常に意欲的であり感心いたしました。畿央大学での学生生活で、アルバイトなどでの社会とかかわりも含めしっかりと勉強し、そしてしっかりと遊んでもらいたいと思います。その中でさまざまな経験が将来に必ず役立つと考えます。そのために私もできる限り支援していきたいと考えます。

② 大学時代は、自分の考えと責任で行動することを学ぶ大切な時期です。高校生と違い、管理されず自由がありますが、責任が伴います。その経験をふまえ社会人に向かって成長していきます。私も未熟ではありますが、学生皆さんを可能な限り支援し、一緒に成長していきたいです。



理学療法学科1回生担任

岡田 洋平

① 「畿央大学に入って毎日が楽しいです！」と話してくれる学生が非常に多い印象です。なかには「僕毎日幸せです！」と笑顔で話してくれた人もいました。しかし高校までとは学習内容、スタイルが変わったことに、やや戸惑っている様子もうかがえました。大学では、学問だけでなく部活、ボランティア、幅広い交友関係と忙しくなって、「体は疲れています」と話す人も結構いました。医療職をめざす者として自己の心身の健康管理には気をつけてもらいたいです。

② 学生は理学療法士をめざして入学してきます。高校時代に進路を決めているので、中には迷う人もいるかもしれません。いつでも学生の話が聞くことができる存在となり、将来、社会、患者さんに貢献できる理学療法士と一緒にめざしたいと思います。ご家庭でお気づきの点等ございましたら遠慮なくおっしゃってください。



理学療法学科2回生担任

東山 明子

① 専門の講義が増えてきて、みんな勉強に必死になりつつあります。再試験を受けたりしながらもなんとか単位をとって次のステップに進んでいって

います。講義時間以外の勉強時間もしっかりと確保できています。大半の学生は部活やサークル、アルバイトも上手に生活の中に組み入れています。しかし、単位を落とし、進路に迷いが生じ出している学生も数人みられ、心配しています。

② 心がけていることは、一人一人としっかり向き合い話を真剣に聞いて一緒に考えること、平等に接することです。保護者の方々には、彼ら彼女らの学んでいることに興味を示して聞いてやっていただきたいと思います。



理学療法学科2回生担任

瓜谷 大輔

① 入学当時、高校生に毛が生えた程度の受け答えしかできなかった学生たちも一回り大きくなり、しっかりした受け答えができるようになりました。1年間切磋琢磨しながら成長してきた跡が感じられました。目標についての関心やビジョンが具体化してきた学生も増えてきたように感じます。一方で意欲や成績について、学生間の格差が徐々に開いてきているように思います。前期試験の成績が例年と比べて著明に低下していることも不安要素の一つです。

② 実習を通じて模擬的に社会に出た際に躓くケースが珍しくありません。昨今、精神的に脆弱な学生も増えていきます。学生達が自分自身に責任を持ち、自立した考え・行動を取れるように既に準備を始める必要があります。ご家庭でも下支えをしていただきますよう、ご協力お願いいたします。



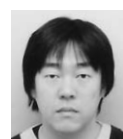
理学療法学科3回生担任

田平 一行

① 3回生になると後期の終わりから臨床実習が始まります。面談で希望や印象を聞くのですが、必要以上に不安に感じている学生と全く感じていない学生の2つに分かれます。不安な学生には、「不安であるのは当たり前で、だからこそ患者さんが良くなると嬉しいんだ」と、不安を感じない学生には、「今の自分で患者さんを良くすることが出来るのか、間違っって怪我をさせてしまうことはないか？」など、医療者として必要な心構えを持つように話しています。

② 医療者育成の学科ですので、良き医療者のあり方を意識させるよう心掛けています。実習中は苦労が多いですが、良き医療者になるための試練と思い優しく見守って下さい。

但し、時に本人の許容範囲を超える場合がありますので、その際には早めに相談頂ければと思います。

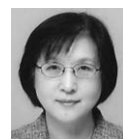


理学療法学科3回生担任

今北 英高

① 今期は全学生が自主的に面談に来ました。2回生のときは何度も呼び出さないと来ない学生もいましたので成長を感じました。また、理学療法士になりたいと明確に応える学生もおり、自分の進路をしっかりと考えるようになってきました。前期はクラブやサークル活動の締めくくりの時期でもあり、最後の大会に全力を尽くしたいと申し出る学生も多かったです。体調面では貧血や寝不足の学生も居ましたが、概ね健康と応えてくれました。3回生では専門的な科目が多くなり、多くの知識や技術を求められます。しっかりと頑張ってもらいたいです。

② 声をかけ、会話の中から調子をうかがい、健康面での変化に気づけるよう心がけています。比較的みんな笑顔で応えてくれますので現段階では安心しています。授業も専門的なものが多く、学生も大変な努力をしています。ご家庭でも状況を聞いていただくと、学生自身にも励みになると思います。

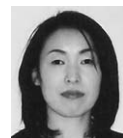


看護医療学科1回生担任

船瀬 孝子

① 学生は、夢の実現に向けて「積極的に大学で学びたい」「できるだけ資格は多く取得したい」「クラブ活動やアルバイトもしたい」「友人を多くつくりたい」と語っていました。一方、大学での学びや生活に適応していける自分なのかという不安も持っていました。例えば「人間関係が苦手」「健康面の心配がある」「技術習得が苦手」「自分の学力が心配」などでした。個性豊かな学生が多く、これからの成長が楽しみです。

② 学生に出会った時には、必ず声をかけ、コミュニケーションをとるようにしています。研究室にも遠慮なく（大歓迎）と伝えていきます。保護者の方にも必要な時、連絡をとらせて頂き状況をお知らせしたいと思っています。



看護医療学科1回生担任

畑野 富美

① 大学受験を終え、晴れて畿央大学の学生となった喜びに学

生からは、大学生活への希望や意欲を感じる発言が多く聞かれました。資格取得のための国家試験合格をめざし、今から勉強を頑張りたい、またクラブ（サークル）やアルバイト等の経験を通して人としても成長し、充実した大学生活を送りたい・・・など意欲的な発言が多くありました。反面、高校との学習の違いに戸惑いも多く、大学における学習への不安を感じているようでした。

② 担任としては、学生が大学生活で直面する悩み等をいつでも相談できる環境を提供したいと考えています。保護者の方に対しては、学生が家庭において大学生活について語れる環境を作って頂ければと思っています。



看護医療学科1回生担任
林 有学

① 大学生活を有意義に過ごしたい、目標としている資格取得にむけて頑張りたいと前向きなようすがうかがえました。また、色々な人と交流を深めること、サークルやアルバイトを始めるなど新しいことに挑戦しようとする姿がみられます。その反面、勉強が難しくなって戸惑いを感じたり、友達の輪を広げにくいと感じたりする面もあるようです。しかし、どの学生も表情は明るく、前向きなようすにうれしく感じました。

② しっかりとした考えを持っている反面、子供っぽさを感じることも多いです。人に関わる職業をめざしているのですから、大人として自分の行動に責任がとれるよう厳しくも温かく接しようと思っています。ご家庭では、それとなく気がかけて見守っていただければと思います。



看護医療学科1回生担任
目良 宣子

① 初めてお会いした入学式、スーツ姿に身を包みちょっと大人びた中にも、やや緊張した表情から大学生活への希望と不安を察することができました。前期面談では多くの学生から、「最初は不安もあったけれど、生活に慣れ、友達もできた。サークルやクラブにも入り、新しい勉強にも何とか頑張って国試に合格したい。バイトもしたい」という声を聞き、目標をもって何事にもチャレンジしようという前向きの姿勢が伝わってきました。

② 気持ちのよい挨拶ができる彼らは、天職への基本的適性を持ち合わせています。青年期から大人への航海に出かけている彼らに、微力ながら大人の先輩として寄り添い共に成長していこうと思っています。保護者の皆さまには、もうしばらく温かい目で見守っていただきますようお願いいたします。



看護医療学科2回生担任
坂田 進

① 2回生になり看護の必修専門科目の授業が多く、また課題も増えておりますので、個人面談では毎日の自己学習の大切さを指導しました。多数の学生が、クラブ・サークル活動やボランティア活動に積極的に参加しており、勉学も含めて畿央大学で有意義な時間を過ごしています。

また、ほとんどの学生がアルバイトをしていますが、深夜に及ぶ場合と頻度が多い場合については、アルバイトを控えるように指導しました。

② 学生が建学の精神である「徳をのびず、知をみがく、美をつくる」を身につけて、さまざまな経験を介して大きく成長することを願っています。保護者の皆様には、学習時間の確保にご協力下さいますよう、お願い致します。



看護医療学科2回生担任
林田 麗

① 後輩を迎え、学生達は2回生になったという喜びを感じていました。同時に、授業内容がより専門的で学究的になったことも自覚し、学習時間の確保や学習方法など学習上の課題について考えていました。大学生活に慣れ、友人や先輩達との交流も深まり、楽しんでいるようです。5月中旬ごろまでは風邪を引くなどして体調を崩す学生が多かったので心配でしたが、今ではどの学生も元気にあいさつをしてくれるので安心しています。

② キャンパス内で出会った時には声をかけられるようにし、いつでも相談に来てもらえるような雰囲気作りを心掛けています。学生が悩んでいる様子がありましたら、担任に相談するように言って下さいますようお願いいたします。



看護医療学科2回生担任
弓場 紀子

① クラス全員が、とてもよい表情をしていたのが印象に残っています。昨年は、健康状態が不安定だった学生や遠距離から通学する学生が一日も早く大学生活に適應してくれることを願っていました。今年は、全員が1年次の単位をすべて取得できたことや健康状態が安定してきたこと、通学に慣れたことで、やっと自分なりのペースで大学生活を送れるようになりました。それに加えて、クラスから冬木智子奨励賞をいただく学生が選ばれました。担任として、とても喜ばしく思いました。ただ、専門科目が始まった今もアルバイトを週2～3日している学生が多くいます。学業との両立は考えているようですが、日々の予習・復習にかけられる時間が十分でないのが心配です。

② 学生が、いつでも気軽に学習や生活上の悩みなどを相談できる関係でいたいと思っています。来年度の臨地実習にむけて、単位の取りこぼしをしないように叱咤激励をお願い致します。



看護医療学科2回生担任
山本 智津子

① 2回生になると大学生活にも慣れ、落ち着いてきました。学習面においては、本学年から専門科目が増え学生にとっては大変と感じる一方、専門知識を得ることで看護師に一歩近づいたという喜びや楽しさ、それらが学習意欲に結びついているように感じます。そして多くの学生が講義の空き時間や放課後をうまく活用し、自分なりの学習方法でコツコツと努力している

姿が見られ、大変嬉しく思っています。
② 体調について尋ねると、多くの学生から“しんどい”や“寝不足”という返答があり、その原因としてアルバイトの時間帯や回数等が考えられます。若さゆえに自らの体調を過信する傾向がありますので、保護者の皆様のご支援をお願いいたします。



看護医療学科3回生担任
神戸 美輪子

① グループ課題も増えてきていますが、互いに協力し合い、真面目に取り組んでいるようです。「学習面でもっと頑張らないといけない」という声は多く聞かれますが、実行に移している人は少なく、その差は大きいようです。自律した学習習慣をつけ看護師国家試験模試で全国トップクラスの成績を出している学生がいる一方で、全く学習していない学生もいます。持ち前の仲間意識で、全員が学習に取り組める雰囲気を作り上げてほしいと思います。

② 保護者の方は、学生にとって応援団だと思っています。看護を学ぶ中で、時には泣き言もこぼすかもしれませんが、いつでもしっかりと聴いてあげてほしいと思います。担任は団長の深い愛情を頼りに団員として応援していきます。



看護医療学科3回生担任
竹田 壽子

① 今回の面談は、1回生時から担任なので早いもので3年目の面談でした。不安げだったり、大学生という開放感一杯だった一回生時や二回生時とは違った、看護学生としての落ち着きを感じました。まだ、具体的ではないけれど、ほぼ進みたい方向を定めかけたといった内面的な落ち着きです。卒業の為の取り組みに覚悟を決めたような、そんな気迫も感じました。臨地実習や卒業研究への取り組みで、もっと逞しく変化してくれることが楽しみです。

② これから、いよいよ看護学習の佳境に入ります。臨地実習や卒業研究がそれです。国家試験もあります。学生は、考えたり、迷ったりいろいろあると思います。どうぞ、温かく支援してあげてください。



看護医療学科3回生担任
鷲尾 弘枝

① 授業の宿題やバイト、サークルなどで毎日忙しい様子で、まだ人体の構造と機能や疾病の成り立ちなどの専門基礎科目が身につけていないため、毎日30分でも模擬試験の復習や過去の国家試験問題など、勉強する習慣をつけるように指導しています。親（担任）バカかもしれませんが、学生は一人ひとりとても魅力があって、大好きです。これから患者さんとたくさん出会い、かかわり、感動して、看護師として社会人として人間として、大きく成長してくれると思います。

② 何かあった時、学生がここを打ち明けられる存在、支えられる存在でありたいと思います。後期は長期の臨地実習が始まります。今までの成果が試させることで疲労が重なりと予測されます。特に食事や睡眠など自分で

管理ができるよう、気配りをしてください。そして時々学校や実習での様子を聞いてあげてください。



看護医療学科3 回生担任
寺田 美和子

① 入学時から元気で明るい学生達でしたが、3回生になり元気さ明るさに加え、とてもしっかりしてきたように思います。間もなく臨地実習が始まります。学生達は実習で合格点をもらえるレベルに到達するのか、実習グループは誰と一緒にだろうと心配していました。1期生であるこの学年は、今まで何事も学年全体で協力してきたように、実習もみんな協力して、たくさんの方を学んできてくれると期待しています。

② できるだけ多くの学生に声をかけるようにしています。これからは医療を目指す学生として恥ずかしくない態度が身につくよう学生に関わっていきたくと思っています。保護者の方々には今まで同様、お子様を暖かく厳しく見守って頂きたいと思っています。



健康栄養学科1 回生担任
岡崎 眞

① 今年の新生入生はみな真面目な学生ばかりで、頼もしい限りです。しかし中にはその真面目さゆえに過剰に緊張しているような学生も何人か見受けられます。卒業後の将来をきちんと見据え、目的を目指して邁進するのは尊いことです。しかし、大学入学後の4年間は新しい知識を吸収して価値観が大きく変化する時期でもあるので、自らを必要以上に束縛してしまわないような柔軟な姿勢も併せ持てる大人に成長するよう、最大限支援していきたくと思っています。

② できる限り学生の自由な発想を大切にしたいと考えていますが、なかには自由を謳歌しすぎて生活のリズムを乱してしまう学生も毎年少なからず出現しますので、それぞれの立場で生活に注視していただきたいと存じます。



健康栄養学科1 回生担任
上地 加容子

① 国家試験や認定資格などの合格を目標としている学生が多く、友人をたくさん作って学生生活を楽しむ前向きな思いが伝わってきました。部活・ボランティア・インターンシップへの参加希望者が多く、ほとんどの学生はアルバイトをしている状況で元気な1回生という印象です。大部分が管理栄養士での就職希望者ですが、具体的には決めかねている人もいます。キャリア発展セミナー、企業インターンシップなどキャリア教育も充実していますので、3回生までにじっくり考えてもらいたいです。

② 学生には、3回生からはとても忙しい毎日となるので、1、2回生の間にいろいろなことに挑戦してくださいと話しています。担任として大学生活が楽しく有意義なものになるようサポートしていきたくと思っています。



健康栄養学科2 回生担任
金内 雅夫

① 2回生になって専門科目の授業が増えてきました。授業内容を十分に咀嚼するため、予習復習をしっかりしてほしいと思います。アルバイトについては一部に過重であるような方も見受けまので、健康や学習面に支障のないような頻度にしていただきたいと存じます。関心がないのか時間がないのかはともかく、奉仕活動の経験者が少なかったのは残念です。2回生のうちは、まだ時間的な余裕もあることでしょうか、ぜひ実践を心がけてください。

② 担任としての心得は、自分を磨き人を育て、高度の道德的基準を守ることを奨励し、かつ奉仕の理念を鼓吹しこれを実践することに尽きるとしています。学生諸君はこれからの世代、まさに新世代であり、教育はもとより、健康、人間の価値、自己開発など基本的ニーズを高めるべく、保護者の方々にもご支援をお願いします。



健康栄養学科2 回生担任
松村 羊子

① 少し大学生生活に余裕が出てきた1回生後期の成績が前期ほどふるわず、2回生に進級し専門性の高い授業が増えて、授業のレベルが急が上がったと感じている学生が多いようです。授業時間以外に勉強する、化学など基本的な知識を身につける等の必要性を強く感じているようで、自主的な勉強時間とアルバイトや趣味に費やす時間とのバランスのとりに悩んでいる様子です。ただ大学生生活は楽しいという学生ばかりなのが、うれしい点です。

② 大学の施設利用や教員の活用を上手に取り入れ、自分で生活のコントロールができるように勧め、学生生活において迷ったり考えたりする時に、少しでも話しかけやすい雰囲気を保つように心がけています。



健康栄養学科2 回生担任
冬木 啓子

① 今回の面談結果を前回の結果と比較すると、学習面では、弱点をより客観的に分析できるようになっていと感じます。最も著しい相違点は、ボランティア活動参加学生数の増加です。ボランティア活動の内容も多岐に渡り将来の進路に直結しない内容も多くあります。世の中には経済ルールでは埋めることのできない領域がありその領域を善意で埋めて、「徳ある社会」作りに貢献することに価値を見出せる学生達に多く出会ったことをうれしく感じております。

② アメリカの大学生は、単位取得が困難な学業と経済的半自立を両立させるのに、学期間の週末と長期休みに集中してアルバイトをし、学期間の平日は学業に専念しています。学生達には、上記を参考にすることを、薦めております。



健康栄養学科3 回生担任
岩城 啓子

① 夏休みには病院や給食施設での実習が始まり、卒業時の管

理栄養士国家試験もそろそろ現実のものとなってきています。そのため、ほとんどの学生は勉学に熱心に取り組み、進路についても真剣に考え始めているようです。ただ、少数ながらアルバイト等に時間をとられ過ぎ、学業がおろそかになっている学生がありました。そのような時は、教科担当の先生との連携のもと、きめ細かく注意するようにしています。

② 担任としてばかりでなく、人生の先輩として適切なアドバイスができるようにしたいと思っています。保護者の方には、進路について悩む時期ですので、ゆっくりと話し合いの場をもっていただけたらと思います。



健康栄養学科3 回生担任
野秋 秀子

① 大学生生活も3年目を迎え、それぞれに学内外で活躍しながら学生生活を楽しんでいる様子です。学習上では、専門科目が多くなり講義に加え、実験・実習・演習科目のレポート作成が大変との声や管理栄養士国家試験に向けての勉強が課題との声などが聞かれます。クラブ・サークルや各種プロジェクト活動に所属する学生は、後輩が増え先輩の立場に悩みもあるようすが頑張っています。

② 担任としては、気軽な会話ができるようにと心掛けています。学外実習である臨地実習が始まりました。暑さや緊張で疲れが出ることが予想されますので、保護者の皆様には体調を崩さないようにサポートをよろしくお願い致します。



人間環境デザイン学科1 回生担任
中山 順

① 1回生で私が担任をさせていただいている学生は32名で、そのうち23名が男性と圧倒的多数を占めています。そのせいか自分の進路を建築分野だとしっかり決めている学生が多いようです。また、入学してすぐに友人グループが形成されているようで、なかなかいい雰囲気です。でも、これから色々な面で悩んだりすることも出てくるかと思いますが、学生生活のスタートとしては上々ではないかと思っています。

② 学生を知ることには尽きます。面談以外で学生との接触機会がまだ少ないので、今後接触機会を増やし担任として学生を知るように努力します。保護者の方にもよく見守っていただき、ご心配なこと等がありましたらご連絡をいただければと思います。



人間環境デザイン学科1 回生担任
李 沅貞

① 少々抽象的ではありますが、建築、インテリア、ものづくり分野に興味を持って人間環境デザイン学科を選んだピカピカの1回生2組の31名は、全員元気で日々輝いています。幸いなことに、私が情報処理演習Ⅰという1回生の前期必須科目を担当していることもあって、毎週木曜日は全員の色をうかがいながら、熱いエールを送っています。

② 4年間の大学生活でどのような自分色を見つけ出してそれを磨いていくのか、とても

楽しみです。一色、無彩色などに偏らず、できれば、多色で明るく鮮やかな色の「ステキな社会人」になれるようにサポートしていきたいです。



人間環境デザイン学科2回生担任
加藤 信喜

① 大学生にもなって担任が必要なのか???という疑問を持っていましたが、担任2年目となり、小さな大学にこそ不可欠な制度だと考え直しています。学生ひとりに15分間程の面談でも、話し合えば気持ちも少しは理解できるようになるものです。2回生になり大学生活にも慣れ、それぞれが楽しいキャンパスライフをエンジョイしているように感じます。友人関係も定着しつつありますが、多感な年代でもあり今後も注意深く見守っていきたくと思っています。

② 大学の担任制は教員と学生とのコミュニケーションと考えています。相手(学生)のことを考え学生の立場で捉え直すことを常々心掛けています。親御さんをお願いしたいことも同様で、できるだけお子様とコミュニケーションをとっていただきたいです。



人間環境デザイン学科2回生担任
金敷 大之

① 良くも悪くも、日常に揺るぎがない点が特徴だと思います。生活習慣の中に学校が組み込まれており、その点では安定しており、わたくしが同年代だったときと比べますと、地に足がついているという印象です。現在の社会の流れにもものすごく適応していると思います。ただし、就職活動が始まってくると、この日常が揺さぶられることになりまますから、その点で心配ではありません。

② ふだん学内で誰と一緒にいるか注意しています。日常生活習慣の中に学内の対人関係があり、対人関係の安定が学校生活の安定に直結するからです。成績や就職よりも、友達がいるかどうか気に遣って、見守っていただけると幸いです。男子学生の保護者のみなさんには、特にお願ひします。



人間環境デザイン学科3回生担任
村田 浩子

① 入学当時クラスの中に大きな仲良しグループが出来ました。気の合う友人がたくさんいることは大学生活を送るにあたって心強いことですが、時にはマイナスの力も働きます。しかし2回生、3回生と進級することに個々に自立し無駄に友人と群れることもなくなったようです。落ち着いて勉学に励んでいます。更に力をつけて卒業を迎えられるようにサポートをしたいと思っています。

② 大学生と言ってもまだ大人のサポートが必要な若者が多いのが現状です。お子さんの様子を気にかけていただいて気になることがあればお話を聞かせて下さい。



人間環境デザイン学科3回生担任
藤井 豊史

① 今の世代に共通するのですが、多くの学生に共通する最

も心配な面は、予め「自分程度では無理だ」と諦め、夢を捨てるとしないことです。例えば、これから就職活動が始まる訳ですが、「本当は設計をしたいが難しそうだから営業志望にしておこう」「この会社は大きすぎて多分通らないから止めておこう」など、挑戦もしないで自分の限界を自分で決めてしまわないようにして欲しいと思います。

② 社会に出た途端に、持たされる責任に戸惑い、脱落してしまう若者を何人も知っています。今の内に、「自分のことは自分にしか解決出来ない」「何時までも誰かが助けてくれる訳ではない」ことを教えたいと思っています。



現代教育学科
学校教育コース1回生担任
西尾 正寛

① 今年の1回生は、目的意識が明確な学生が多いという特徴が伺えます。第一志望を叶えられず本学に入学してきた学生が多いことも事実ですが、そのことに負い目を感じず、「畿央大学で夢を叶えるんだ」という強い意志を感じます。中には切り替えができずに悩んでいることが伺える学生もいますが、夢を叶えた先輩達も同じ場所から出発したことを伝えました。ここで学ぶことの価値を自らの力で創造できるようになることを期待しています。

② 学生には近付き過ぎず、必要な時に的確に寄り添えるよう心がけています。彼らは自らにとって少し広めの川渡りに臨んでいます。保護者の皆様の日頃の温かいまなざしが彼らを勇気づけます。よろしくお願ひいたします。



現代教育学科
学校教育コース1回生担任
岡本 啓子

① 学習意欲の強い学生が多いと感じています。教員採用試験や勉強の仕方を聞きたいというニーズがあり、4年次の教員採用試験に向け「今から勉強を始めたい」と強い気持ちを持っています。さらに、英検、TOEIC、TOEFLで高得点を取りたいと意欲を表している学生、クラブやサークル活動に取り組んでいる学生が多いです。面談時には、大学に来ることが楽しく、充実していると話していましたが、毎日の学習に疲れが出て「これぐらいでいいか」と気のゆるみが出るのが心配です。

② 教育職の大事な要素「声かけ」の効果を感じてほしいので、「声かけ」を心掛けています。さらに初心を大事に、自分と相手を大切にしてほしいと願っています。保護者の皆様には、自宅、下宿生に関わらず、たまに「元氣か」の声かけをお願いいたします。



現代教育学科
学校教育コース1回生担任
深田 将揮

① 教師になりたい!という高い志を持った学生が多かったです。目標達成のために勉学に重きを置いて生活している学生が多かったことにも感銘を受けました。ただ、ほとんどの学生が高校時代とは違う「学び」について(勉強方法や試験等について)とまどっているようでした。しかしな

がら、この思いや不安といった「初心」を忘れずに4年間を充実したものにし、自分が理想とする教師になっていただきたいと思っております。

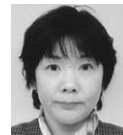
② 私は、元々高校の教員でしたので、学生の声や表情の変化には敏感に反応しております。また、事あるごとに積極的に声掛けもしております。ですが、もしご家庭で気になるようなことがございましたらご相談いただければと思います。



現代教育学科
学校教育コース1回生担任
ムース・ランディ

① 1回生は団結心が強く、グループ活動を非常に円滑に行っています。また、多くの学生はやりたいことを明確に示しており、目標を果たしたいという強い意思を見せています。多様な資格を取得したいという学生が多く、この大志を抱くことは非常に良いことですが、取得するための大変さを学生が理解しているか、また、せっかくの大学生の生活を充実できず、大切な時間を逃さないかと教員として心配しています。学生の支えとなれるよう、全力を尽くしたいと思います。

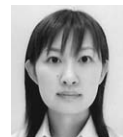
② 大学生は立派な大人及び社会人になるための重要な最後の段階に入っています。お子様がここまで成長できたのは保護者の愛情や努力のたまものであり、さらに今後も愛情が必要とされています。大学での活動に対して関心を持って頂きたいと思ひます。保護者からの愛情ある声かけで、励まして頂きたいです。



現代教育学科
幼児教育コース1回生担任
粕井 みづほ

① 面談では、友人がたくさんできた、サークルや部活動に入り活動している、先輩とも知りあえた、毎日大学に来るのが楽しいという声をすべての学生から聞くことができ、ホッとしました。心配な面という(担任の心配ではなく、学生自身の心配ですが)、初めての大学の試験はどんなものか、どう試験勉強をすればよいのか、ちゃんと合格点をもらえるだろうかという1回生らしい声を聞きました。アドバイスはしましたが、初めての試験結果を聞くのが楽しみです。

② 授業で週1回は顔を合わせるので、その時に一人ひとりの状況を把握するように心掛けています。大学時代は、夜型の生活スタイルになりがちです。ご家庭ではぜひ、不規則な生活にならないように心配りしていただければと思います。



現代教育学科
幼児教育コース1回生担任
大城 愛子

① 教育学部の学生全体に通じていることですが、ボランティアやサークル活動(特に子どもと接する活動)に意欲的に取り組もうとしていることがうかがえます。様々な活動に参加しようという積極性が見られるのは非常に良いことだと思います。一方で、そうした雰囲気になじみにくく感じている学生も中にはいます。その場合は、無理に方向

づけをするのではなく、本人の意思を尊重しながら支援していくことが大切ではないかと考えています。

② 講義だけではなかなか一人ひとりの様子を把握することは困難なので、学内で顔を合わせた時は、挨拶に加えて何か一言でも声をかけ、会話の機会をもつことを心がけています。ご家庭でも大学生活について色々話を聞いていただけたら、と思います。



現代教育学科
教育心理学コース1回生担任
三好 環

① 将来への夢を持ち意欲的に頑張ろうとする学生が多いと感じます。しかし、頑張るといふ思いが空回りしているように見受けられる場合もあります。憧れを現実のものにするには何が必要かを知り、強い意志で粘り抜くことが必要です。気持ちを張り詰め過ぎて心が疲れないように緊張の糸を緩める緩急も大切です。また、大学での学びは受け身の勉強でなく、自らが積極的に学ぶものです。授業だけでなく読書や活動を通じて多くを学んでほしいと思います。

② 学生が親しみやすく気軽に相談できる担任でありたい、と心掛けています。保護者の皆様はお子様の大変な相談相手であり日常生活の見守り手ですが、担任との連携が必要な場合には小さな事でもご遠慮なく声をおかけください。



現代教育学科
教育心理学コース1回生担任
良原 誠崇

① 学生たちの教育への関心・熱意は非常に高いものがあります。一方で、それをどのように活かせばいいか、まだとまどいがあるようです。教育への情熱を燃え尽きさせることなくさらに高めながら教養を積み上げ、冷静な批判的視点を育むことが1回生担任の使命だと思っています。また私は臨床心理士として、新しい環境に適應していきけるための心理的なサポートについても心がけて参りたいと思います。

② 大学受験では後悔を残した学生も少なくなく、その思いをくみ取りながら、次のチャレンジを応援したいと思います。大学は大人になる最後のステップです。どうぞお子様への温かいご支援をお願いします。

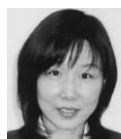


現代教育学科
心理学コース2回生担任
中城 進

① 何かに成ろうとして、日夜、必死に頑張っている学生の姿が見られる。上回生の姿を見て、これからの自身の在り様のことを思い悩み、考えている学生もいた。勉学に精進する上回生を見習って、夜遅くまで自習をする学生も出て来はじめた。しかし、全体的な傾向をみると、基礎学力が低い学生が多い。特に、英語力が弱い。翻訳の手前の音読ができない学生が多い。他の教科も弱い可能性もある。その自覚が本人にあるのかが心配です。

② 自身の弱さを自覚し、その弱さを自力で克服する力を付けさせてやりたい。そのため

に、自身の将来(数年後の将来)を構想し、企画し、実行計画を検討し、実践するという気持ちを持たせてやりたいと思う。家庭でも「将来の自分」を本人に語らせて欲しい。



現代教育学科
心理学コース2回生担任
坂本 暁美

① 1回生での面談時に比べて、自分の未来の姿や就きたい職業を具体的に言える学生が増えました。また、「その自分の未来のためにあなたは今何をしますか」という私の問いに対して、ほとんどの学生が、自分の性格や弱点を把握した上で具体的な行動を言えていることから、今後の成長が期待できると感じました。心配な面は、人間関係に苦しむ学生や自分に自信が持てず悩む学生がいることです。普段元気そうに笑っている学生も何らかのストレスを抱えており、学生各々の性格や事情に応じた配慮の必要性を感じました。

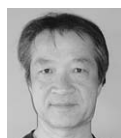
② 学業面では、モチベーションを高めるような声かけをしたり、将来像を描くための働きかけをするよう心がけています。生活面では、学生が発するサインに気づいて話しやすい雰囲気を作るよう努めています。保護者の皆様の言葉かけによる応援が、学生の安心感ややる気につながり成長の糧になりますので、宜しくお願い致します。



現代教育学科
心理学コース2回生担任
永淵 泰一郎

① 2回生になり大学生活にも慣れて、授業外の活動であるインターンシップやボランティアをする学生が増えています。学業外でもクラブやサークル活動、バイトをおこなっている学生も多いです。家庭に帰って勉強する時間はテスト前だけで、ほとんど勉強時間を取っていない学生が多く、自分の興味ある分野の本も読んでいないことがわかりました。今回の面談ではそれらが無意識になされていたので、改めて自分の将来について考え、今何ができるかを問い直す面談となりました。

② 3回生の面談を少し先にして、「今、2回生だったら」のコメントを聞き、2回生に伝えていきます。3回生になると自分に課す勉強量が増えるのも将来の夢のため。ご家庭でも進路で悩む学生の応援をよろしくお願致します。



現代教育学科
地域教育コース2回生担任
柳父 立一

① 2回生地域教育コースの3分の1に面接しました。23人中ボランティア・インターンシップに参加していない学生は5人、ボランティア・クラブ・サークル・アルバイトで充実した大学生活を送っている、という学生が大部分でした。23人中単位を落としたのは3人で、この点ではしっかりやっている学生が多いです。しかし、授業を聞く時間の2倍の自習をする時間はとれていないと

② 人材以外の資源がない日本は、ものづく

りを基本にしていく宿命なので、外国語・理数系が好きなお子様も育てる必要があります。教員を志す学生が理系が苦手、では済まされません。自分で取り戻せれば楽しさも理解できるでしょう。



現代教育学科
地域教育コース2回生担任
奥田 俊詞

① 昨年度は話をしている、どこか緊張しているような雰囲気を感じることもありましたが、今年度の面談では、すっかり畿央大学になれていて、表情に安心感が読み取れる学生ばかりになっていました。また、自分の将来に向けての取り組みが大切であることを、多くの学生が自覚してきていることも印象的でした。これは、先輩の実績がそれぞれの努力によって実ったものであることを、先輩の姿を見て実感しているからだと思います。このようなよい連鎖が、畿央大学の伝統の一つとなっていくように思います。

② 学生が一生懸命何かに取り組んでいる姿を見ていると、私も力がわいてきますし、多くの勇気をいただいています。体力が続く限り、学生と共に成長していきたいと思っています。



現代教育学科
地域教育コース2回生担任
富島 雅子

① 大学生活で自分のペースをしっかりとつかみ、充実した学生生活を送っている。また、将来の自分の姿をかなり明確にイメージし、その実現に向けて努力している。多くの学生がボランティアやインターンシップに積極的に参加し、大学での授業から学べないことを全身で吸収しているという印象を受けた。アルバイトにウェイトが掛かりすぎではないかという学生が若干いた。様子を見ていきたい。

② 学内で姿を見かけたときには声をかけるようにしている。特に進路について迷いがあるときには、私の経験を聞いてもらい、自分自身で考えることができるようにアドバイスしている。ご家庭でも大学生活や友人のことなどを話す機会をできるだけ多くもっていただければと思う。



現代教育学科
教育情報化コース2回生担任
西端 律子

① 2回生ですので、一番学業に励むことのできる時期です。授業やレポートを頑張りたい、学校や企業のインターンシップに参加したいという意欲のある学生が多く、非常に頼もしい限りです。一方で、畿央大学はさまざまな免許を取得することができるがゆえに、将来の進路を決めかねている学生もいます。2回生の間に、いろいろ考え、相談し、来年度にはそれぞれの進路に向けて動くことのできるようしておきましょう。

② これからの進路を決める重要な時期です。まずは、学生の「～したい」という芽を摘まないように心がけています。保護者の皆様方におかれましても、先達として、さまざまな経験談をお話して頂けると、ありがたい限りです。

畿央大学大学院で修士号・博士号を取得

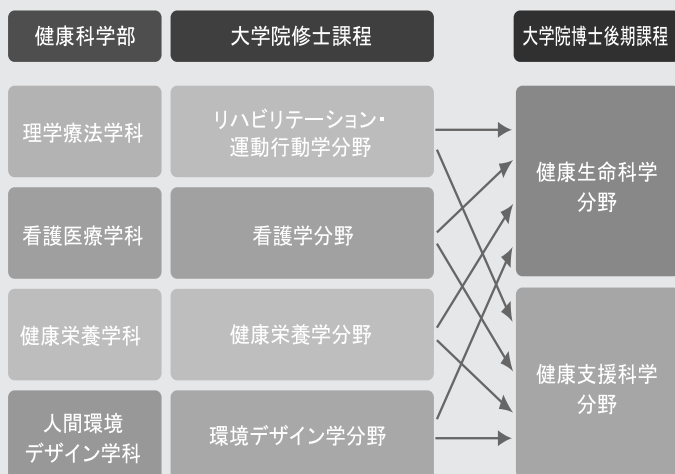
働きながら学べる授業システムで、よりハイレベルな専門職業人に

健康科学の学問分野は日々進歩しています。その研究に取り組み、職場のリーダーとして活躍する、あるいは後輩の指導に当たることのできる力量を養うため、大学院健康科学研究科修士課程を平成19年4月、博士後期課程を平成21年4月に開設しました。この春の入学学生では修士課程18名のうち8名、博士後期課程11名のうち1名が畿央大学卒業生です。社会に出てから2～3年して、仕事の専門性をさらに高めたい、最先端科学にふれて自分もその発展に貢献したいと思って入学してくる学生が多いようです。

畿央大学大学院の特色は働きながら学べること。授業は平日の18時から、もしくは土曜日の昼間に行います。大学に来

れない学生は自宅や職場からインターネットで授業を受けることができます。実際、入学者のほとんどが社会人で、働きながら勉強し、研究を続けて学位を取得しています。夜間の研究活動を保証するために施設によっては24時間の使用を可能にしたり、WEBで申し込むと他大学や研究所の文献のコピーを取り寄せることができるサービスも提供しています。大学院生たちは研究活動に活発に取り

組み、国際学会にも多数参加して全国的にも注目を集めています。成績優秀者には奨学金制度もあり、学部卒業後の進路として大学院進学もぜひ視野に入れて欲しいと考えています。



学生生活支援の窓口

大学でのくらしを万全の体制でサポートしています。

なんでも相談窓口

学生生活を送る上で困ったことがあればなんでも相談できます。相談員は学生と一緒に考えてもっとも良い解決方法をさがします。メールでの相談も可能です。

学生支援センター

授業や証明書についての手続きはこの窓口で行います。また奨学金やクラブ・サークル活動など学生生活全般にわたる手続きを担当しています。

基礎教育センター



物理・化学・生物・数学・英語・日本語表現についての質問は基礎教育センターへ。分野や学年を問わず、本学の学生であれば誰でも利用できます。

図書館

本が借りたい、電子ジャーナルを利用したい、調べたいことがあるけどどうしたら良いかわからない、そんなときは図書館カウンターへ。本学にない本は他の図書館から取り寄せることも含めて相談にのります。

情報センター

パソコンや情報ネットワークを使う際に困ったことがあれば、相談を受け付けます。授業やクラブ活動でカメラやビデオなどの機材が必要な際は、この窓口で貸し出します。

ボランティアセンター



事務室の中にボランティアセンターがあり、専任のスタッフが常駐しています。ボ

ランティア活動先を開拓したり、ボランティア情報を提供したり、相談・支援活動を行ったり、学生たちのボランティア活動を全面的にサポートしています。

健康支援センター



身体の調子が悪い時の対応、けがの応急手当、健康相談を行っており、治療が必要な時は近隣の医療機関に搬送できる体制を整えています。心の悩みを抱えた学生には必要に応じてカウンセリングを行い、専門機関への紹介を行っています。また学生の健康保持、増進をはかるため、定期健康診断を実施し、健康状態を把握して、病気の予防や早期発見につとめています。健康意識啓発セミナーを年3回実施したり、健康だよりを発行して情報を提供するの大切な仕事です。

2010年度保護者アンケート結果のご報告

今年度は392名、22%の保護者の方からご回答をいただき、昨年度の18%と比較すると4ポイントの増加となっています。回答者の学科別、学年別の内訳は図1の通りで、回答率はそれぞれ異なりますが、保護者の方々のご意見の大筋はこのアンケートに反映されていると思われます。主な内容を紹介させていただきます。

建学の精神について

このアンケートで保護者の方が本学の建学の精神、「徳を伸ばす、知をみがく、美をつくる」をご存じかどうかをお尋ねしました(図2)。そして67%、2/3の方が建学の精神を知っていると回答してくださいましたが、これは非常に高い数字と思われます。私学において建学の精神は教育の根本にあたるものです。私たち教職員はこの建学の精神に則った教育を行い、学生たちにもこの精神を身に付けて欲しいと願っています。

入学前のイメージと現在の実感

畿央大学にお持ちだった入学前のイメージと現在の実感についてお尋ねした所、図3の通り「全く同じ」「ほとんど同じ」が72.5%、「少し違う」「全く違う」が27.5%となりました。クラス担任制のある親身な

大学、少人数で学生一人ひとりにきめやかなサポートをする大学、学生と先生との距離が近いアットホームな大学という良い評価をたくさんいただきました。ただ入学前まで畿央大学については全く知らなかったと回答された方もかなりおられ、大学の広報活動の重要性を実感させられました。

大学生生活の充実感

学生は畿央大学の生活に充実感を持って通学されているように思われますかという問いに対して図4のように肯定的な回答が96%、否定的な回答が4%で、昨年度は肯定的な回答が94%でしたので2ポイント上昇しています。そう感じられる理由として、友達にも恵まれ楽しそうに通学している、部活動にも積極的に参加し充実した大学生生活を送っている、将来めざす職業に向けて前向きに取り組んでいる、という内容が多くありました。否定的な回答の理由では、大学での勉強の仕方がわからないようだ、子供が下宿しているので学校の様子がわからない、忙しそうで寝不足に見える、などという意見があったことにも注目したいと思います。

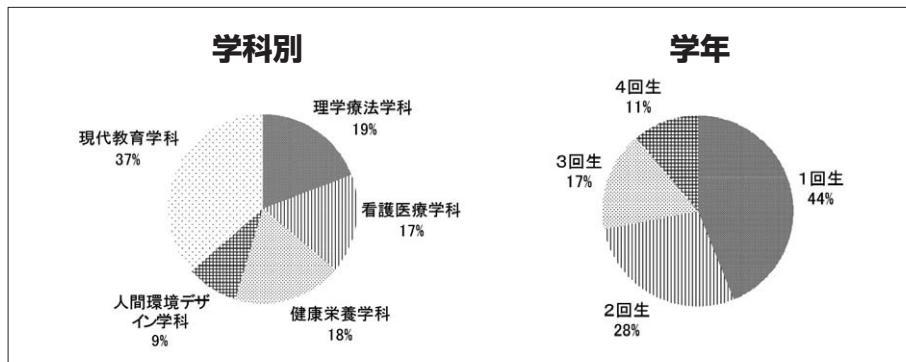
大学への要望

畿央大学が今以上に充実すべき点につい

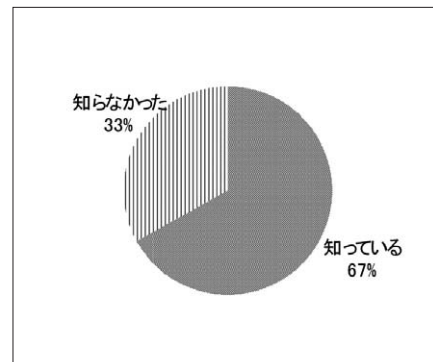
ては図5の通り、第1位が「キャリア支援」58%、第2位が「専門性を身につけさせる教育」48%、第3位が「企業・病院・学校などとの連携」35%、と就職関連が上位を占めました。そしてもっと知らせしてほしい情報(図6)として「就職支援や就職状況」が42%で第1位と、お子様の将来について強い関心を持っておられることが分かります。リーマンショック以降、新卒者の就職活動は厳しさを増しています。ただ他大学が軒並み就職率を下げている中、畿央大学は2010年3月卒業生の就職率は94.3%と全国でも第5位となっています(『就職に強い大学』読売新聞社)。今後も「畿央大学=就職に強い」が伝統になるように努めていきたいと考えています。

保護者向けに実施してほしいことについては図7の通り、「就職に関する保護者向けの説明会」が28%と高い率を示していることにお応えして、今年度初めての試みとして、畿央祭の際に企業就職と教員採用試験の状況についての説明会を企画致しました。ぜひご参加ください。また19%の方からご要望頂いている「保護者向け大学通信の送付」については、「後援会だより」や学園広報誌「カトレア」を通して畿央大学の現状や取り組みをより理解していただけるよう、内容の充実に努めたいと思います。

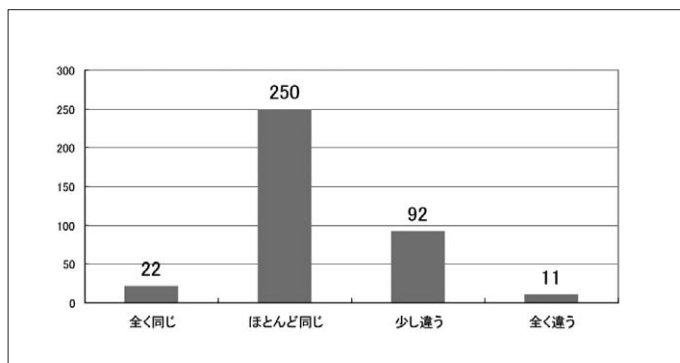
【図1】 ●回答して頂いた保護者の内訳



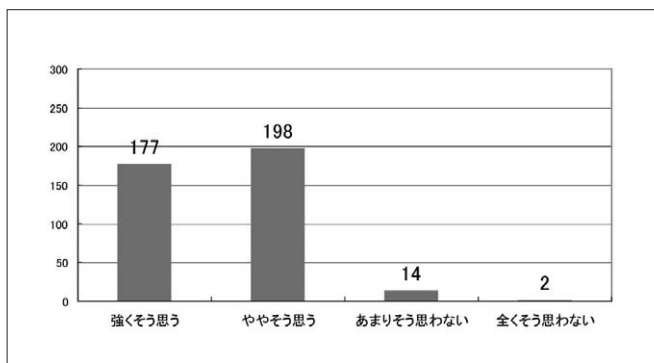
【図2】 ●建学の精神について



【図3】 ●畿央大学への以前のイメージと現在の実感



【図4】 ●学生が大学生生活に充実感を持っているか



禁煙について

学内および近隣の喫煙禁止に関しては多くのご賛同を頂きました。医療関係や教育関係の進路をめざす者にとっては当たり前、大学近辺でだらしない行動を見ると自分の子供が同じ大学に通っていると思うと悲しくなるなど、より強い指導、教育を要求するご意見がある一方、学内に喫煙所を設けるべきであろうという分煙のご意見もいただきました。地域住民の方からは、大学近辺・バス停での喫煙、ポイ捨てなど学生のマナーが悪いというご意見も頂いており、禁煙指導の強化や現実的な対応を検討して参ります。

畿央大学の魅力や長所

本学の魅力としてクラス担任制で少人数、学生との距離が近くアットホームな大学であるとあげておられる方がたくさんいらっしゃいました。本学の担任は年2回、学生全員との面談を行い、学習、課外活動や就職活動など学生たちの様々な悩みの相談に

応えています。定期面談だけでなく、学生が困った時や悩んだ時には人生の先輩として、学生たちのよきアドバイザーでありたいと考えています。またキャリア支援が充実しているとあげて頂いている方も多く、教職支援センターやキャリアセンターが就

職活動をサポートして、学生それぞれに見合ったきめ細やかなサポートがあるというご意見も頂戴しました。畿央大学教職員一同、今後もしっかりと皆様のご期待に応えられるよう努力していききたいと思います。

改善すべき点やご要望については、その主なものについてQ&A形式で掲載させていただきます。

㉞ 盗難があると聞いていますが？

▲ 「ロッカーのカギが壊された」「クラブハウスから貴重品がなくなった」などの被害が複数報告されています。そのつど警察とも相談しながら掲示やメールにて利用者に注意を促してきました。これからも巡回等を強化していきますが、貴重品の扱いにはくれぐれも注意を払うようお願いできればと存じます。

㉟ 食堂のメニュー改善や、席数の拡大に取り組んでほしい。

▲ 食堂改善に関しては健康栄養学科の教員も含めたプロジェクトを立ち上げ、他大

学の調査も行い改善策を検討してきました。この5月から昼食時にホール棟のラウンジでミニコンビニを開店して、食事のスペースを広げることができました。また食堂棟の売店では焼きたてパンの販売なども開始しサービスの向上に努めています。学生の声を聞かせてもらって希望を反映したメニューを工夫したり、健康栄養学科の学生がレシピを工夫したヘルシー弁当を販売するなど、学生に愛される食堂をめざしています。

㊱ 大学生協に加入してもらったら色々便利だと思います。

▲ 生協は学生や教職員の出資によって立ち上げるものですので、一般の業者を誘致し利用する、というものとは全く性質がこととなります。例えば生協が食堂を運営したり店舗を構えるということになると、収支が合わなければ出資者である学生や教職員の負担が増えることとなります。学生数による収支の分岐点は2000名程度という情報もあり、本学の場合厳しい状況にあります。生協を作るメリットとのバランスをみながら慎重に検討したいと考えています。

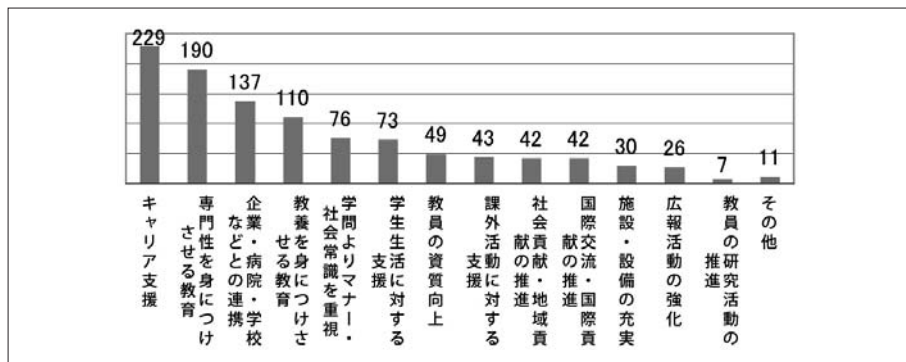
㊲ ボランティア等を学生が体験できるシステムはないのですか？

▲ 畿央大学にはボランティアセンターがあり、常駐のスタッフを置いて、学生にボランティア活動への参加を積極的に勧めています。ボランティア募集の情報も数多く寄せられていて、掲示やWeb上の情報サイトで見る事ができます。ボランティアに参加した記録は「ボランティア活動証明書」として学長名で発行され就職活動等でも利用できる仕組みも作っています。学生がボランティアに興味をお持ちでしたら、ぜひボランティアセンターを訪ねることを勧めてください。

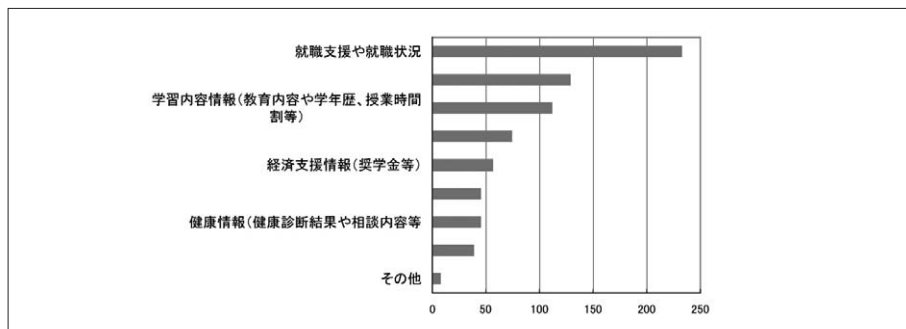
㊳ 地方から出てきている学生への下宿支援はどのようになっていますか？

▲ 学生寮はありませんが五位堂駅から徒歩5分のところに「メゾン・ド・ラフィエネ」、二上駅から徒歩10分のところに「ヴェルデ」という女子マンションがあります。まだまだ学生の認知度が低く、大学のPR活動が不十分です。少しでも保護者の皆様、学生の負担が少なくなるように家賃の値下げなども今後検討して参ります。

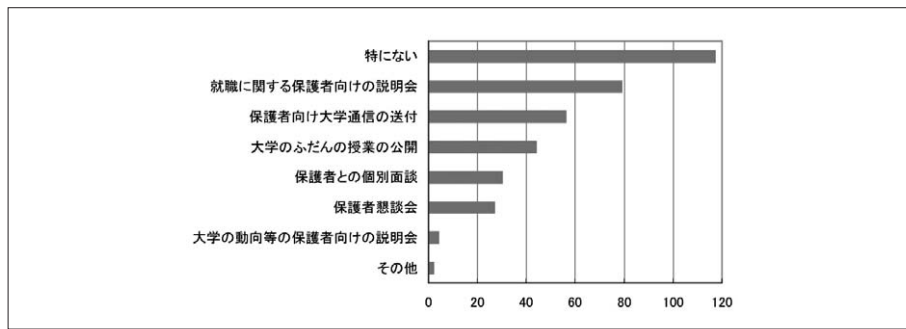
【図5】 ● 畿央大学が充実すべき点は？



【図6】 ● 学生に関してもっと知らせしてほしい情報は？



【図7】 ● 保護者向けに実施してほしいことは？



授業日カレンダー

注：①～⑯は各曜日の授業回数、※印のついた日は校舎内に入ることはできません。■は休講日

大学での授業は、前期・後期各15回行われます。①～⑯は曜日ごとの授業週数を表しています。15週目は補講期間ということで休講等があった際にはその週に授業が行われます。16週目は最終授業期間ということで定期テスト、テストがない場合は授業が行われます。曜日によって15回を確保するために、休日に授業を行うことがありますのでご理解ください。

健康科学部

9月		10月		11月		12月		1月		2月	
日曜	事項	日曜	事項	日曜	事項	日曜	事項	日曜	事項	日曜	事項
1 水	前期試験・後期試験会場搬入開始	1 金	①	1 月	⑤	1 水	⑨	1 土	元日 ※	1 火	⑯
2 木		2 土	②	2 火	⑥	2 木	⑩	2 日	※	2 水	⑰
3 金		3 日		3 水	⑦	3 金	⑪	3 月	※	3 木	⑱
4 土		4 月	②	4 木	⑧	4 土	⑫	4 火		4 金	⑲
5 日		5 火	②履修登録変更〆切	5 金	⑤	5 日		5 水		5 土	⑳
6 月		6 水	②	6 土	⑥	6 月	⑪	6 木		6 日	
7 火		7 木	②	7 日	指定校推薦入試 ※	7 火	⑩	7 金	⑬	7 月	⑰
8 水		8 金	②	8 月	⑦	8 水	⑩	8 土	⑬	8 火	
9 木		9 土	③	9 火	⑦	9 木	⑪	9 日		9 水	
10 金		10 日	AO入試 ※	10 水	⑥	10 金	⑩	10 月	成人の日	10 木	
11 土		11 月	③授業日(体育の日)	11 木	⑦	11 土	⑩	11 火	⑬	11 金	
12 日		12 火	③	12 金	⑥	12 日		12 水	⑬	12 土	
13 月		13 水	③	13 土	公募推薦入試	13 月	⑫	13 木	⑬	13 日	
14 火		14 木	③	14 日	公募推薦入試	14 火	⑪	14 金	試験会場設置(休校日)	14 月	
15 水		15 金	③	15 月	⑧	15 水	⑪	15 土	大学入試センター試験 ※	15 火	
16 木		16 土	④	16 火	⑧	16 木	⑫	16 日	大学入試センター試験 ※	16 水	
17 金		17 日		17 水	⑦	17 金	⑪	17 月	⑭	17 土	
18 土		18 月	④	18 木	⑧	18 土	⑪	18 火	⑭	18 金	一般入試
19 日		19 火	④	19 金	⑦	19 日		19 水	⑭	19 土	
20 月	敬老の日	20 水	④	20 土	⑦	20 月	⑬	20 木	⑭	20 日	
21 火	履修登録	21 木	④	21 日	公募推薦入試	21 火	⑫	21 金	⑭	21 月	
22 水	履修登録	22 金	畿央祭準備	22 月	⑨	22 水	⑫	22 土	⑭	22 火	
23 木	秋分の日 大学院入試 ※	23 土	畿央祭	23 火	勤労感謝の日	23 木	天皇誕生日	23 日	一般入試	23 水	
24 金		24 日	畿央祭	24 水	⑧	24 金	⑫	24 月	一般入試	24 土	
25 土	①授業開始	25 月	カーンキャンパイン補講予備日	25 木	⑨	25 土	⑫	25 火	⑮	25 金	
26 日		26 火	⑤	26 金	⑧	26 日		26 水	⑮	26 土	
27 月	①	27 水	⑤	27 土	⑧	27 月		27 木	⑮	27 日	
28 火	①	28 木	⑤	28 日		28 火		28 金	⑮	28 月	
29 水	①	29 金	④	29 月	⑩	29 水	※	29 土	⑮		
30 木	①後期学費納入期日	30 土	⑤	30 火	⑨	30 木	※	30 日	一般入試		
31 日		31 金		31 月	⑬	31 日	※	31 火	⑮		

教育学部

9月		10月		11月		12月		1月		2月	
日曜	事項	日曜	事項	日曜	事項	日曜	事項	日曜	事項	日曜	事項
1 水	前期試験・後期試験会場搬入開始	1 金		1 月	④	1 水	⑧	1 土	元日 ※	1 火	⑮
2 木		2 土	①授業開始	2 火	⑤	2 木	⑨	2 日	※	2 水	⑱
3 金		3 日		3 水	⑤	3 金	⑧	3 月	※	3 木	⑲
4 土		4 月	①	4 木	⑤	4 土	⑧	4 火		4 金	⑲
5 日		5 火	①	5 金	④	5 日		5 水		5 土	⑲
6 月		6 水	①	6 土	⑤	6 月	⑩	6 木		6 日	
7 火		7 木	①	7 日	指定校推薦入試 ※	7 火	⑨	7 金	⑫	7 月	⑮
8 水		8 金	①	8 月	⑥	8 水	⑨	8 土	⑫	8 火	⑮
9 木		9 土	②	9 火	⑥	9 木	⑩	9 日		9 水	
10 金		10 日	AO入試 ※	10 水	⑤	10 金	⑨	10 月	成人の日	10 木	
11 土		11 月	②授業日(体育の日)	11 木	⑥	11 土	⑨	11 火	⑫	11 金	
12 日		12 火	②履修登録変更〆切	12 金	⑤	12 日		12 水	⑫	12 土	
13 月		13 水	②	13 土	公募推薦入試	13 月	⑪	13 木	⑫	13 日	
14 火		14 木	②	14 日	公募推薦入試	14 火	⑩	14 金	試験会場設置(休校日)	14 月	
15 水		15 金	②	15 月	⑦	15 水	⑩	15 土	大学入試センター試験 ※	15 火	
16 木		16 土	③	16 火	⑦	16 木	⑪	16 日	大学入試センター試験 ※	16 水	
17 金		17 日		17 水	⑥	17 金	⑩	17 月	⑬	17 土	
18 土		18 月	③	18 木	⑦	18 土	⑩	18 火	⑬	18 金	一般入試
19 日		19 火	③	19 金	⑥	19 日		19 水	⑬	19 土	
20 月	敬老の日	20 水	③	20 土	⑥	20 月	⑫	20 木	⑬	20 日	
21 火		21 木	③	21 日	公募推薦入試	21 火	⑪	21 金	⑬	21 月	
22 水		22 金	畿央祭準備	22 月	⑧	22 水	⑪	22 土	⑬	22 火	
23 木	秋分の日 大学院入試 ※	23 土	畿央祭	23 火	勤労感謝の日	23 木	天皇誕生日	23 日	一般入試	23 水	
24 金		24 日	畿央祭	24 水	⑦	24 金	⑪	24 月	一般入試	24 土	
25 土		25 月	カーンキャンパイン補講予備日	25 木	⑧	25 土	⑪	25 火	⑭	25 金	
26 日		26 火	④	26 金	⑦	26 日		26 水	⑭	26 土	
27 月		27 水	④	27 土	⑦	27 月		27 木	⑭	27 日	
28 火	履修登録	28 木	④	28 日		28 火		28 金	⑭	28 月	
29 水	履修登録	29 金	③	29 月	⑨	29 水	※	29 土	⑭		
30 木	後期学費納入期日	30 土	④	30 火	⑧	30 木	※	30 日	一般入試		
31 日		31 金		31 月	⑬	31 日	※	31 火	⑮		

第8回 畿央祭 テーマ：「HOME」

日時：2010年10月23日(土)・24日(日)

今年のテーマは「HOME」。実行委員長によると、「畿央生にとって、畿央大学が温かく、優しく、第2の家のような場所であることから、畿央祭を通して私たちの家をより強く、より大きな存在にできたら…という願いを込めました」とのこと、あたたかな交流の輪の広がる畿央祭になりそうです。

畿央祭は楽しい企画がもりだくさん

毎年地域のみなさんや受験生・保護者のみなさんに楽しんでいただいている畿央祭。今年も、一層充実させようと96名の実行委員が準備に励んでいます。野外舞台・ホール企画・模擬店・アリーナでの子ども向け企画など、楽しい企画満載です。教員と学生による共同企画「ウェルカムキャンパスin 畿央祭」も同時開催です。



冬木学園へのご支援のお願い

学校法人冬木学園は、「徳をのばす、知をみかく、美をつくる」という建学の精神のもとにたゆまぬ教育活動を行い、平成18年には学園創立60周年を迎えることができました。現在は幼稚園、高校、大学、大学院を有し、昨今の厳しい教育環境のなかでも本学園への社会的評価は年々高まっています。このように冬木学園が発展してこれきたのも、卒業生や保護者をはじめ学園を支えてくださるみなさまのおかげと厚く御礼申し上げます。

これからも学園の評価を更に高め、社会のニーズに応えるためには、教育・研究活動の充実や学生・生徒への奨学金制度の充実など、より多くの資金が必要になってまいります。つきましては、本学園の建学の精神に賛同しご協力頂ける皆様方に寄付金を募集させて頂きたくご案内申し上げます。

◎ 寄付のお申込方法

法人事務局総務部にお問い合わせ下さい。

TEL：0745-54-1603 E-mail：houjin@kio.ac.jp

◎ 寄付金の控除

冬木学園は特定公益増進法人に指定されていますので、個人の皆様からのご寄付については、寄付金から5千円を差し引いた金額が所得額から控除できます(所得の40%以内)。